

# わくわく橘っ子



人権教育便り

NO. 2

令和7年12月

## サーティグラスボーズさんによる人権コンサート

12月2日（火）の午後、人権授業参観の後、人権コンサートを実施しました。今年は、サーティグラスボーズさんを講師に迎え、音楽を通して楽しく分かりやすく人権について学ぶことができました。優しい楽器の音や歌声に参加者は心を癒やされました。

サーティグラスボーズさん、人権についてゆっくりと親子で考える時間を与えてください、ありがとうございました。参加くださった保護者の皆様、ありがとうございました。



## ～保護者の感想～

- 子どもにも分かりやすい詞ですごくよかったです。ふだん音楽で人権を学ぶことはないので子ども、大人改めてすごく勉強になりました。
- お話や歌で子どもたちが楽しみながら聞けるように工夫してくださりありがとうございました。一緒に参加できる工夫があり、分かりやすいように手話を教えてくれたり、子どもも保護者も共に楽しかったです。歌の歌詞で人権についての話もあり、すごく勉強になりました。
- 参加型のコンサートだったので、子どもたちも楽しんでいる様子でした。歌を通して、人権について考える良い機会になったと思います。
- 音楽を通じて子どもたちがふれあったり、時には考えたりする姿を見ることができました。家庭でも人権にふれあう機会を増やしていくと思える会でした。
- 歌を通じて一つになり、人を大切にする気持ちなどを考えられるよい機会でした。

※保護者の皆様からたくさんのご感想をいただきました。たくさんあって掲載しきれないの一部抜粋して紹介させていただきました。

## ～児童お礼の手紙～

- わたしがいちばんすきだったうたは、ともだちのうたです。どうしてかといふとみんなだいじにしようとおもったからです。またきてください。(1年生)
- すばらしいコンサートをありがとうございました。とくにともだちのうたがこころにのこりました。いい歌でした。(2年生)
- えんそうを見て、この人たちはすごいやさしい人たちなんだなと思いました。これからもがんばってください。(3年生)
- 音楽を楽しむとともに人権や差別などについて考えることができました。(4年生)
- 楽しく人権を学ぶことはむずかしいんじゃないかなと思いましたが本当に楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。(5年生)
- 曲を通して身近な人権問題について考えることができました。(6年生)

